

令和元年度豊岡市商工会経営発達支援計画評価委員会

経営発達支援計画評価委員会 開催状況

豊岡市商工会では令和元年度の経営発達支援計画評価委員会を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見送り、委員に書面にて事業実績を報告、評価をいただきました。
評価委員会からの意見は次のとおりです。

報告日 令和2年4月13日(火)

評価者 外部委員（中小企業診断士）1名

【評価委員会の意見】

経済動向に関すること	必要な情報が収集、整理される体制が整ってきており、かつ一部において、補助金申請書の作成に活用されている。自己評価は低くなっているが、期待以上の内容と評する。
経営分析に関すること	事業所の持つ課題、相談に対する期待など必要な情報が提供できるだけの分析ができています。
事業計画策定に関すること	支援対象者も着実に掘り起こしできており、特定の方に偏らず、満遍なく案内できている状況が伺える。経験年数が浅い担当者の活躍が目覚ましい。本来は、何年かかかる業務をこなす力が短期間で養われており、事業計画策定支援の目標件数のいずれも達成できた理由と想定できる。また、各セミナーや個別相談によって、実のある事業計画が策定支援できただけでなく、補助金の採択にも繋がっており、事業者の方の満足度も高い。そのため次の紹介に繋がっており、好循環が形成されつつある。各事業を点でとらえることなく、長期的視点でそれぞれに合った支援メニューを考えて、着実に底上げしており、連続性ある観点から、分析、計画、フォローという一連の流れが整備されてきた。フォーラムが起点であり、終点でもあるという因果関係が共有できてきた。
実施支援に関すること	相談があった事業所に対しては、着実に対応されている。異動があっても、支援内容が適切に引き継がれており、かつ個人でなく、組織で進捗が共有されている。
需要動向に関すること	経済動向調査と同様に、補助金申請書に活かされ、かつ巡回指導時においても有効に活用されている。
需要開拓に関すること	展示会への出展支援については、事業所からのかなりの信頼が求められるが、目標達成されている。出展前のサポート及び展示会への同行により、さらに結び付きが強まっている。また、実際、商談が取引に複数結び付いている。
地域経済活性化に関すること	まちゼミについては恒例事業となっており、事業者の期待は熱い。参加事業者数も高止まりで推移しており、良好に運営されている。運営方法に関しては、見直すべきことも複数あるが、担当者が認識されており、回を重ねるごとに改善されてる。
支援力向上に関すること	若手、女性の活躍が目覚ましい。それぞれの任務が体得されているだけでなく、日頃の業務で実践されている。組織内での情報共有や先輩が後輩を指導する体制の構築が進んでいると感じることが多い。担当指導員だけでなく、職員全体で事業所を支援する姿勢が、最近特に強く感じられるようになった。

令和元年度 豊岡市商工会経営発達支援計画実施評価表

指針別項目	事業等	令和元年度目標		評価
地域の経済動向調査に関すること	経済動向資料の作成・提供	提供1700社 提供10回 活用40社	地域の現状を把握するため商工会の実施する景気動向調査、全国連景気動向調査等の結果を分析しHPや会報に掲載する。小規模事業者の経営分析に有効活用し、実現性の高い事業計画の策定により売上や利益向上に繋げる。	C
経営状況の分析に関すること	経営状況分析	40社	小規模事業者の経営状況を分析し、自社の置かれている経営環境や保有する経営資源を正しく把握して、課題解決や新規事業への取組みにつなげる。	A
事業計画策定支援に関すること	経営革新計画策定	9件	中長期的な観点にたち、経営環境の変化に対応できる自立した小規模事業者を育成し、PDCAを自ら実践できるよう伴走型支援を通して、持続的発展につなげていく。セミナーや研修会を通して伴走型支援により、必要に応じ外部専門家等を活用して事業計画（経営革新・経営改善・事業承継・創業・販路開拓）を策定する。	C
	創業計画策定	10件		B
	販路開拓計画策定	15件		A
	セミナー開催数	7回		A
	研修会開催数	4回		A
事業計画策定後の実施支援に関すること	フォローアップ対象先	38社	小規模事業者が計画した事業に取り組めるよう計画的な支援計画を立て、進捗状況や目標の達成状況を巡回・窓口相談によって把握し、経営の安定化につなげる。	A
需要動向調査に関すること	需要動向情報収集、提供	商工会収集6回 外部収集6回 提供80社	需要を見据えた事業計画を策定するための情報を収集、分析して小規模事業者に提供し、消費者ニーズにあわせ需要開拓につなげる。	C
新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	展示会・商談会情報提供	10社	小規模事業者が、自社のターゲットに見合う展示会や商談会に出展し、出展サポートや情報発信の支援を受けることで、新たな取引先を開拓し認知度を向上させる経験を通して、商談成立確立を高めていく。	A
	展示会等出展サポート	8社		A
	プレスリリース指導	8社		A
	商談成立数	5件		C
地域経済の活性化に資する取組	地域産品PR事業	-	小規模事業者が地域資源を活用して開発した多数存在する地域産品について、「販路開拓につながる」情報を発信する媒体として、PR用動画を製作する。	-
	にぎわい創出事業	開催数年3回 参加店50社	まちゼミを開催し、「お客様の満足・幸せ」「個店の顧客・売上」「街の発展・活性化」の向上を図り、個店の売上、経営力のアップを図り、地域経済の活性化につなげる。	C
		開催数年2回 参加店46社	まちバルを開催し、新たな顧客開拓、地域の飲食店の活用を促し、街の活性化と飲食店の集客支援を通して、地域経済の活性化につなげる。	B
経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組	他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	市 年6回 公庫 年1回 よろず -回	市、日本政策金融公庫、兵庫県よろず支援拠点等と情報交換・共有を密にし、最新情報や支援ノウハウなど小規模事業者の経営に役立つ情報を入手し、新たな需要開拓を進める基盤を構築する。	A
	経営指導員等の資質向上等	随時	OJT、OFF-JT、中小企業基盤整備機構等の支援能力向上研修を受講し、経営指導員等の資質向上を図る。定期的に支援会議を開催し、日々の支援や手順など実際の案件を基に討議し、知識習得の場とする。	A

評価指標 A：目標を達成することができた。（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
 D：目標をほとんど達成することができなかった。（30%未満）